

新・人間裁判を
勝利しよう！

2017年07月19日 136号

生活保護制度を良くする会

ニュース

事務局 道生連
電話 011-736-1722
ファックス 011-736-1688
X - 〴〵 seihoikusurukai@herb.ocn.ne.jp

新・人間裁判チャリティー・コンサートに400人。 ステキな演奏、原告・支援者みんな元気に！



7月15日（土）札幌サンプラザ・ホールを会場に、「新・人間裁判」の原告を励ますチャリティー・コンサートが行われ、札幌、江別、小樽、岩見沢から400人が参加しました。北海道で音楽活動をする9人のミュージシャンがトークと演奏で楽しませてくれました。募金は、事前の団体訪問等で50万円を超え、当日、会場では17万円が寄せられました。

「多彩な音楽を楽しむことができた。最後に、ステージにあがってみんなで『上を向いて歩こう』を唄った時、会場が一つになって盛り上がった！（写真・上）」（鳴海真樹子さん・原告・白石区）
「高齢の方や体の不自由な方もいるのに顔も名前も出して原告となり、その方々がステージに上がり、堂々としている姿を見て、とても感動しました」（鴨澤浩さん・東区）

コンサートは、三浦誠一「生活保護制度を良くする会」事務責任者の開会の挨拶で始まり、9人のミュージシャンが3つに分かれてクラシック・

ギター、ラップ奏法、鼻笛など得意の演奏を披露。

幕間を利用し、後藤昭治原告団長・小樽市の原告の岩崎まゆみさんから支援へのお礼、裁判を闘う決意が話され、弁護団事務局長の渡辺達生弁護士から裁判の争点が報告されました。また、裁判を支援する道労連、国民救援会、道社保協、全生連から激励の挨拶をいただきました。

フィナーレは、会場からタスキをかけた原告が登壇、出演者と一緒に、会場と一体となって「上を向いて歩こう」の大合唱！細川久美子原告世話人代表が閉会の挨拶を述べ、コンサートの幕が下ろされました。（詳報は次号以降で）